

特殊病虫害特別防除事業費（内閣府沖縄振興局計上）（継続）

1. 趣 旨

沖縄県には、本土等に未発生 of イモゾウムシ等の特殊な害虫が発生しており、さつまいも等の寄主植物に著しい被害を与えているばかりでなく、その未発生地域への移動が、禁止又は制限されているため、沖縄農業振興上の重大な障害となっている。

さらに、これら害虫の発生を放置することは、未発生地域へのまん延の危険性を増大させることとなるので、早急に防除対策を講ずることが必要である。

このため、イモゾウムシ等については、不妊虫放飼法等の根絶技術が実証されたことを踏まえ、これらの技術を用いて根絶に向けた防除を実施する。

また、既に根絶が達成されたウリミバエ及びミカンコミバエ種群についても、再侵入の危険性が非常に高く、侵入・まん延した場合、沖縄県の農業生産に多大な被害を与えることから引き続き再侵入防止対策を実施する。

2. 事業内容

(1) ウリミバエ侵入防止事業

沖縄県全域において侵入警戒調査を実施するとともに、ウリミバエの侵入の危険性が高い地域において、不妊虫放飼による再侵入防止対策を実施する。

また、ウリミバエ等大量増殖施設の改修等を行う。

(2) ミカンコミバエ種群侵入防止事業

沖縄県全域において侵入警戒調査を実施するとともに、ミカンコミバエ種群の侵入の危険性が高い地域において、薬剤による再侵入防止対策を実施する。

(3) 移動規制害虫特別防除

① イモゾウムシ等根絶事業

イモゾウムシとアリモドキゾウムシについて、不妊虫放飼法等により、根絶防除を実施する。

② アフリカマイマイ防除

野菜類の栽培地帯において、誘殺剤の散布により、発生量の低下及び被害の軽減を図る。

3. 事業実施主体

沖縄県

4. 補助（交付）率

10/10・9/10・定額

5. 事業実施期間

昭和47年度～

6. 平成18年度概算決定額

特殊病虫害特別防除事業費 976（994）百万円

【担当課：消費・安全局 植物防疫課】